

I. 研修について

基礎的臨床能力を養成するとともに、脳神経外科疾患(脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎・脊髄疾患、先天性疾患、機能的疾患、感染性疾患)の初期診断、適切な検査の指示と一般的な検査・治療および手術手技の修得を目指す。特に救急の現場にて脳血管障害と頭部外傷の急性期の診断と治療を経験して、急性期の的確な治療ができるように研修する。

II. 研修の到達目標

日常診療で遭遇する脳神経外科的疾患に適切に対応できるように、脳神経外科的初期診療能力を修得する。具体的には、脳神経外科指導医とともに、外来・入院患者に対して脳神経外科的疾患の診断、検査、治療方針、手術、術前後の管理を検討して、脳神経外科での基本手技や手術手技について研修する。

III. 医師数[うち臨床研修指導医数] (平成 29 年 3 月現在)

- ・常勤医師 2 名 [1 名]
- ・非常勤医師 1 名

IV. 学会認定医・専門医・指導医(平成 29 年 3 月現在)

- 日本脳神経外科学会専門医(2 名)
- 日本脳卒中学会専門医(1 名)
- 日本神経内視鏡学会技術認定医(2 名)
- 日本救急医学会専門医(1 名)

V. 施設認定

- 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院

